

Nissen

大豆生田 守の ファッショントーク

Merrybooby



今日ではまさに現代のキーワードとして、頻りにあらゆる媒体に登場する「ロハス」(LOHAS / Lifestyles Of Health And Sustainability)であるが、一般的にロハスという言葉を目にした、目には始まったのは「1年くらい前」からである。

世界に1つだけの写真集



「ロハス」の台頭は、21世紀の標準的なライフスタイルの提唱として個人と社会、人間と地球環境などすべての関係が健全である状態を維持し続けることを普及させる運動の始まりでもある。また、ビジネス領域では、新たな商標の登場として「衣、食、住」

「ロハス」の台頭は、21世紀の標準的なライフスタイルの提唱として個人と社会、人間と地球環境などすべての関係が健全である状態を維持し続けることを普及させる運動の始まりでもある。また、ビジネス領域では、新たな商標の登場として「衣、食、住」

「ロハス」の台頭は、21世紀の標準的なライフスタイルの提唱として個人と社会、人間と地球環境などすべての関係が健全である状態を維持し続けることを普及させる運動の始まりでもある。また、ビジネス領域では、新たな商標の登場として「衣、食、住」

「ロハス」の台頭は、21世紀の標準的なライフスタイルの提唱として個人と社会、人間と地球環境などすべての関係が健全である状態を維持し続けることを普及させる運動の始まりでもある。また、ビジネス領域では、新たな商標の登場として「衣、食、住」

LOHASに笑顔のメッセージ



「Merry EXPO in TOKYO」(銀座ミキモトホール)



笑顔のメッセージ



愛知万博会場

「笑顔は世界共通のコミュニケーション」を合言葉に、水谷氏が23カ国を旅して2万人を超える子供たちの笑顔とメッセージを集めたこの記録は、笑顔の万博(Merry EXPO)としてフリーパー、ウェブサイトなどを通じて世界中に「Merry」(あわせ)の輪を広げてきた。子供たちの屈託のない笑顔と、「どの家庭のテーブルにもパンがあること」「家族が同じ部屋で暮らすこと」「いつも友達と一緒に学校に行けること」「自由でいること、愛を注いで太陽」「アイスクリムを食べたとき」「自分の肌の色を誇りに思っているとき」……などは昨年開催された愛知万博の愛地球広場の巨大ビジョンで流された。

「笑顔の万博」は、多様な文化・文明が交流し、地球上に住むすべての命の持続可能な共生を追求する新たな試みでもある。水谷氏によるこのプロジェクトは、ロハスを意識したものであるが、ロハス思想に通じるものである。「健康とは肉体的および精神的に健全でかつ社会的に良好な状態をい、単に疾病または病弱ではないということではない」という、世界保健機関の定める健康と良好な地球環境の維持を意識したライフスタイルの求めるものは、まさに「万人の笑顔」そのものである。

現在、日本は世界一の長寿国であり、健康寿命でも一位にある。地球環境保護でもエネルギーの消費削減、エコ技術でも世界のトップクラスにある。米国で生まれ、全米に広がったロハスには日本の食文化や精神文化の享受もある。世界で活躍する日本のトップアスリートたちの作風にもさら日本文化の精神性が色濃く反映されている。

日本ではロハス普及に対する環境は十分整っている。今後、ファッション分野でのロハス関連ビジネスは生産、使用、廃棄に配慮したラオダクトの開発や心地良い売場環境、サービスの提供とともに、ファッション業界がロハスに向けていかなるメッセージを発していくか、普及策を講じるかが重要となるであろう。(蝶理MODA取締役プランニングディレクター)

※水谷氏の「MERRY EXPO」は3月14日まで、ミキモト名古屋店でも開催される。